

令和4年第6回奥出雲町教育委員会定例会会議録

日 時 令和4年6月15日(水)

開 会 13時55分

閉 会 14時40分

場 所 仁多庁舎 3階 301会議室

出席委員 福田充雄教育委員 谷尻教育委員 荒金教育委員 高橋教育委員

委員会事務局 高尾学校再編推進課長 岸本教育魅力課課長補佐

安部学校再編推進課長補佐 長谷川学校再編推進課長補佐

教育長

この教育委員会定例会の後、総合教育会議を予定している。仁多地域の統合小学校の建設地について町長から委員に意見を聞きたいと聞いており、そのような内容になると思っている。

参加者4名

※開会宣言 教育委員の出席者数を確認し、会議の成立を宣言

※会議録署名委員 高橋委員

これより議事に入る。

報告第8号 仁多地域統合小学校建設地について

事務局

※資料により説明

学校再編・再開発特別委員会より校区からの要望に対する町の対応方針の回答を求められている。

・安全な登下校について

→原則、建設地がどちらになっても全員が着座できるように必要に応じて大型のバスの車両整備を図ると共に、奥出雲交通の輸送能力でカバーできない路線については、専用バスを運行する計画。

・体育館について

→現三成小学校敷地の場合、三成小学校体育館を利用。

→仁多中学校隣接地の場合、小学校専用の体育館を新設する計画。

ただし、体育館については、将来的に町民体育館と兼用できる施設として1,200㎡程度の施設の建築を検討する余地もある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・プールについて →いずれの建設地であっても三成公園のプールを利用。 ・校庭について →現三成小学校敷地の場合 斐伊川護岸側に下げて校舎を建築した場合 5,700 m²程度 現在の管理棟・ランチルームの位置に建てた場合 5,300 m²程度 →仁多中学校隣接地の場合 裏山を造成し 5,200 m²程度 現三成小学校のグラウンド面積は 3,500 m²のため、いずれの場合でも 1.5 倍程度面積が増える。 ・早期の統合について →町としては、環境整備を整えてから統合すべき考えているため、仁多地域については、令和 8 年 4 月再編が妥当ではないかと考えている。 ・耐震校舎の仮設対応について →統合小学校の建設地が決定しなければ県から許可が下りない。建設地の決定と共に着手していく。 <p>総合教育委員会の進行としては、おそらく町長から教育委員へ建設場所について意見を求められる形になると思われる。</p>
教育長	<p>質疑等はあるか。</p> <p>先般、福田委員と谷尻委員には、学校再編・再開発特別委員会に参加してもらっている。必要であればその時の話をしてもらっても構わないと思っている。</p> <p>1つ確認だが、仁多中学校隣接地の場合、グラウンドから段を付けるのか。</p>
事務局	<p>約 30 メートル、約 30 度の勾配に段を付けていく事になる。</p>
教育長	<p>勾配 30 度、高さとしては 30 メートルのところは頂点になるのか。</p>
事務局	<p>資料に示しているが、約 40 メートル×120 メートルの長方形のグラウンドが取れる。細長いスペースしか取れない。合計すると 100 メートルを超える程度の掘削工事になる予定。</p>
福田委員	<p>技術室等はどうするのか。</p>
事務局	<p>技術室等は、武道上の裏にある古い技術室等を解体し、そこへ家曳きで持って行く。その費用として 7,000 万程度と予想している。</p>

福田委員	町議員が言っていたが、ここの水の問題はどうするのか。
事務局	我々は素人のためはっきりとした事は言えない。 仮に仁多中学校隣接地になった場合、山林の調査・設計に10か月程度かかると聞いている。その際のボーリング調査や実際に工事が始まってから水が出る可能性もある。馬木の金井谷の峠の工事でも水が沸いてきたため、何度も工事の計画を変更したと聞いている。工事をしてみないと分からないという事も当然あると思うが、それは何とも言えない。
福田委員	給食調理場の側から入って工事をするのか。
教育長	そのような想定をしている。図面の6番と5番あたりとつぶしてからそこへ入ることになる。
事務局	そこへの進路の確保の工事がレッドゾーンの解消工事を兼ねている。いずれにしてもここのレッドゾーンには何らかの措置が必要。 議員からは、運動公園の方から入ることはできないかという意見を貰っている。しかし、運動公園は都市公園という区域になっているため、その許可を得る必要がある。また、許可を得ることが出来てもその認可が出るには最低1年はかかると聞いている。
教育長	確認だが、新校舎と屋内運動場を建設後、最終的に技術室等を動かすのか。
事務局	事務局としてはそのような想定をしているが、最終的には専門家でないと分からない。 家曳きは新校舎工事着手から2年目の夏休みを利用して移動する計画。
教育長	他に質疑はあるか。
谷尻委員	先般の学校再編・再開発特別委員会を傍聴した。特別委員会の前には、タウンミーティングを行っており、個人の意見だったかもしれないが、その大半が現三成小学校敷地の方がよいという意見だった。それなのに特別委員会は仁多地域の統合小学校は仁多中学校隣接地がよいと言っており、疑問に思っている。 福田委員の教員が学ぶ集団として存続するには統合が必要という話から始まり、地域の方の声や様々な自然事象など、生きている環境の中で子ども達を育てるべきだし、安全面からも現三成小学校跡地がよいという話をしたが、議員はそれとは違う次元で考えているという事が分かった。 磯田元教育長が校長先生だった時期に仁多中学校の現在、池になっている後ろ側の山へ一緒に散歩に行ったが、マムシが出るため気を付けるように言われた。湿度

が高く、マムシが出るような場所に1年生から6年生までの児童の校舎を持って行くのは駄目だと強く思った。

教育長

学校再編・再開発特別委員会では、様々な議員が様々な考えを述べている。3月の時点では特別委員会から現三成小学校式という意見もあったが、総意としては仁多中学校隣接地が妥当であると結論を貰っているが、先般の学校再編・再開発特別委員会では、現三成小学校敷地でも良いのではないかという意見を貰っている。

この後の総合教育会議では、町長の話に基づいてそれぞれの委員の考えを述べて欲しいと思っている。

(その他報告)

【非公開】

< 次回定例会は7月20日(水)午後15時00分より(予定) >

会 議 録 署 名

署名委員

高橋美奈

教育長

松田武彦